



こくう

穀雨（19日）…草木の緑が一気に伸びていきます…

この時期に降る雨を百穀春雨と呼ぶそうです。穀物にとっての恵みの雨が降る季節です。気温も上がり、園庭の草木がぐんぐんと伸びて生命の躍動を感じる時期です。ところで、前回の（虹始見）の日付を19日までと書きましたが、18日まででした。お詫びして訂正します。二十四節気の日付は、年によって微妙に違います。ちなみに、来年は2月3日が立春なので、2月2日が節分となるようです。私もこれらのことは、国立天文台のホームページで調べています。また「暦生活」などのホームページも参考にさせてもらっています。

<霜止出苗 しもやみてなえいずる 4月25日～29日>

穀雨の次候は「霜止出苗」です。小さかった芽や草がぐんぐんと伸びる様子は子どもたちの姿と重なります。今のように、ご家庭でずっと一緒にいると気付かないかもしれませんが、久しぶりに会えば、きっと「何て大きくなったの」「顔つきが変わったね」などという会話が弾むはずことでしょう。それも、もう少し先のお楽しみにとっておきましょう。ところで、たんぽぽは毎日時間によって様子が変わり、一日ごとにもどんどん変わって行って、とても興味深い命の営みを教えてくれました。3日間にわたるゆっくりとした動画配信です。ご覧ください。



22日(水)8:13 花も綿毛もまだ閉じて



10:31 明るい日差しに花が咲き(綿毛が開いて)



17:44 花は閉じ、綿毛がまるくなって



23日(木)8:04 花は閉じ、綿毛はまるく



10:18 また花が咲き、綿毛が少し減った?



15:50 花は咲いているけど、綿毛がない!



24日(金)8:18 花はまだ閉じています



14:55 花が咲いて、長い茎が少し傾き



18:06 花は閉じ、長い茎がだいぶ傾いた